

○地域と繋がる西側道路に対して、学校活動や地域の交流活動が表れ、賑わいや活気が生まれるようにする。

○視認性を確保し、児童生徒が安全に安心して通学できるような計画をする。
○スクールバスに安全に乗降できるように計画する。

校舎
○厳しい気候に耐え、省エネで快適に過ごせる。
○敷うに、熱負荷を抑制しやすい校舎形状とする。
○自然採光や通風を生かせる校舎とする。
○接地性に配慮する

○いこいの庭
現在の環境を残し、思い出を継承する

○現在の敷地環境を活かし、開発・造成工事費を極力抑えるために、校舎はコンパクトに配置する。
→北側の小川・湿地帯や東側の山を保全し、環境教育などに生かす

校庭
○日当たりの良い校庭を確保する。
○成長段階の異なる児童生徒が、のびのびと遊び、運動できるようにする。

避難拠点
○体育館と校庭の関係を考慮する。

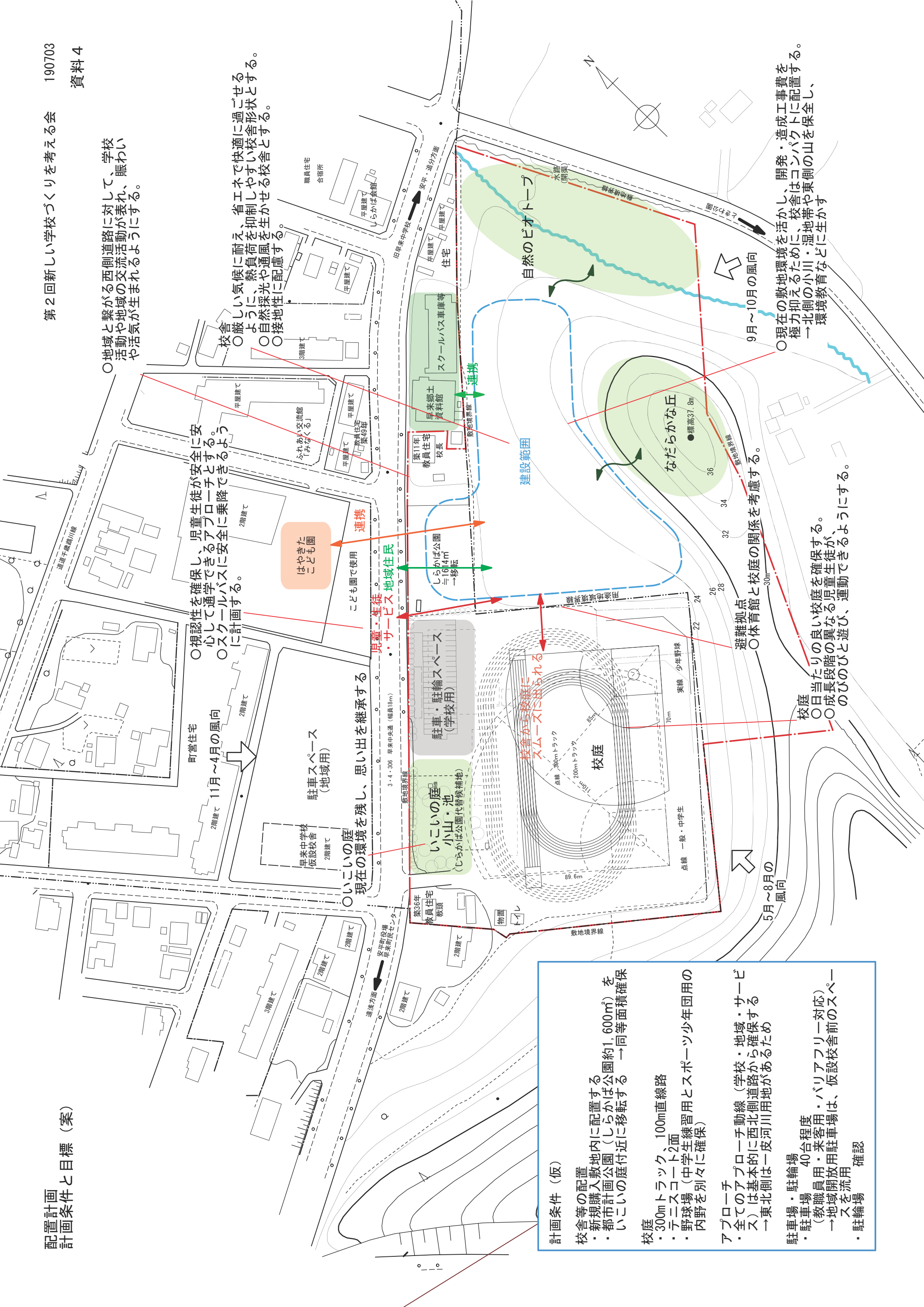
計画条件 (仮)

校舎等の配置
・新規購入敷地内に配置する
・都市計画公園(しらかば公園)をいこいの庭付近に移転する →同等面積確保

校庭
・300mトラック、100m直線路
・テニスコート2面
・野球場(中学生練習用とスポーツ少年団用の内野を別々に確保)

アプローチ
・全てのアプローチ動線(学校・地域・サービ
ス)は基本的に西北側道路から確保する
→東北側は一皮河川用地があるため

駐車場・駐輪場
・駐車場 40台程度
・駐輪場 来客用・バリアフリー対応)
→地域開放用駐車場は、仮設校舎前のスペースを流用
・駐輪場 確認



計画条件 (仮)

- 校舎等の配置
 - ・新規購入敷地内に配置する
 - ・都市計画公園(しらかば公園)をいこいの庭付近に移転する →同等面積確保
- 校庭
 - ・300mトラック、100m直線路
 - ・テニスコート2面
 - ・野球場(中学生練習用とスポーツ少年団用の内野を別々に確保)
- アプローチ
 - ・全てのアプローチ動線(学校・地域・サービ
ス)は基本的に西北側道路から確保する
→東北側は一皮河川用地があるため
- 駐車場・駐輪場
 - ・駐車場 40台程度
 - ・駐輪場 来客用・バリアフリー対応)
→地域開放用駐車場は、仮設校舎前のスペースを流用
 - ・駐輪場 確認